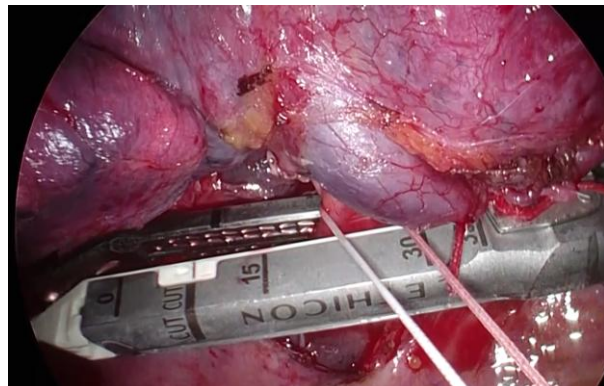


## 1. 低侵襲手術



### ● 完全鏡視下手術

2007年より導入  
4か所の穴のみで手術を完遂  
筋肉の切除が少なく、患者負担軽減。

症例により1か所の穴のみも導入。

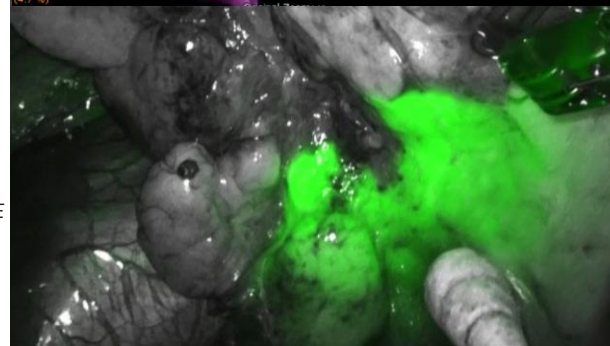
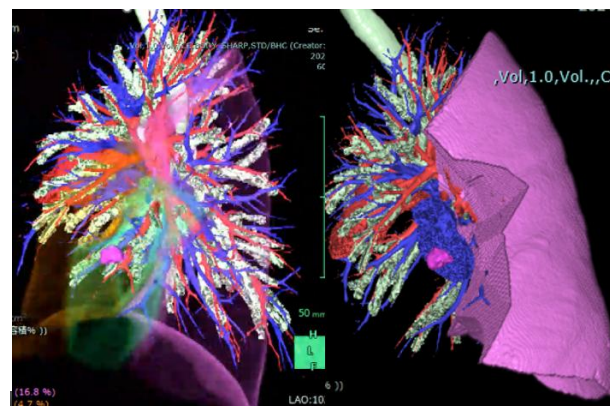
### ● ロボット支援下手術

2018年より導入  
立体視モニターによる明瞭な画像  
多関節アームによる自由な操作性  
手振れ補正機能でより精緻な手術操作  
300例以上の実施実績

### ● Reduced Port

2026年より2か所の穴のロボット手術も導入。

## 2. 最新画像診断システム



### ● 術前3D-CT画像

従来検査と患者負担は変わりなく作成可能。  
術前の血管走行把握のために有用。  
安全性、確実性を高めた術前計画が立案可能。

### ● 術中ICG

必要十分な肺の切除範囲を同定可能。  
より肺を温存しつつ、根治性を担保した縮小手術を可能にする。

低侵襲手術率  
80%

ロボット手術実績  
370例

胸腔鏡安全技術認定  
2名(県内唯一)